

ラオス国
セタティラート病院改善プロジェクト
運営指導調査団報告書

平成 12 年 4 月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

ラオス国セタティラート病院改善プロジェクトは、1999年10月から5年間の協力期間において、当病院の各診療科の充実を図り、医療水準と卒後研修機能等のレベルアップを実現し、もってラオス国全体の医療水準の底上げを図ることを目的として協力を開始しました。

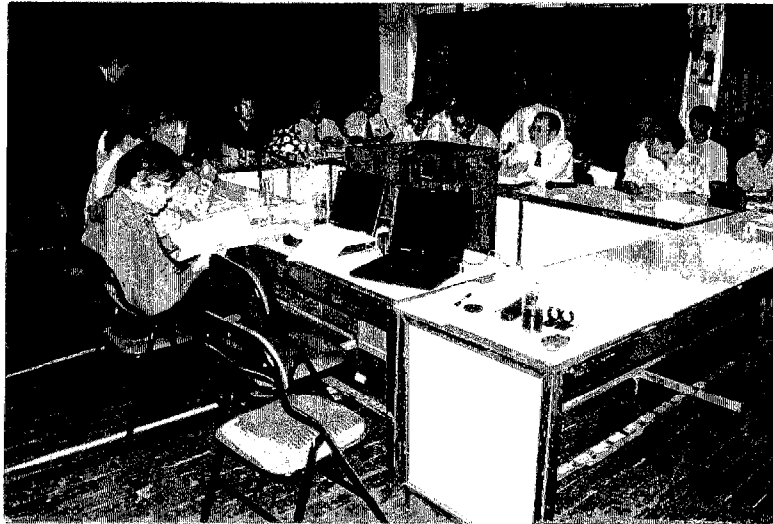
プロジェクト方式技術協力を開始してから6カ月が経過しようとしているなか、国際協力事業団は2000年3月18日から26日までの日程で、沖縄県医師会会長 比嘉國郎氏を団長として、運営指導調査団を派遣しました。本調査団は、これまでの技術移転の進捗状況を正確に把握、問題点を検討し、今後の協力計画策定の指針を得ること、特に、現在建設中の新病院の完成が本年11月に予定されていることもあり、相手国関係者と今後の協力計画について協議し、計画内容の調整を行うとともに、プロジェクトの実施体制等の改善について先方関係者と協議を行うことを目的に派遣されました。

本報告書は、上記調査団の調査結果を取りまとめたものです。ここに、本件調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる謝意を表します。

平成12年4月

国際協力事業団

理事 阿部 英 樹



病院側との協議風景



供与機材の引き渡し式



ミニッツ署名の様子

目 次

序 文

写 真

| | |
|------------------------|----|
| 1 . 運営指導調査団派遣 | 1 |
| 1 - 1 要請内容および背景 | 1 |
| 1 - 2 調査目的 | 1 |
| 1 - 3 調査方針 | 1 |
| 1 - 4 調査団の構成 | 2 |
| 1 - 5 調査日程 | 2 |
| 1 - 6 主要面談者 | 3 |
| 1 - 7 ラオス側との協議内容 | 4 |
| 2 . 総 括 | 6 |
| 3 . プロジェクトの進捗状況 | 7 |
| 4 . 課題と問題点 | 8 |
| 5 . その他 | 9 |
| 附属資料 | |
| ミニッツ | 13 |
| 無償資金協力による新病院建設概略 | 24 |

1 . 運営指導調査団派遣

1 - 1 要請内容および背景

セタティラート病院は病床数 200 床、医師数 75 名を有する、ラオス人民民主共和国(以下、ラオス)北部地域における中核的総合医療機関であり、また、医科大学生の臨床教育、医師の卒後教育を担う養成機関でもある。ラオスは第 4 次 5 カ年計画に則った「西暦 2020 年への保健衛生システム構築戦略」などの国家計画に基づき、同病院の中核的医療機関、養成機関としての機能を高めることとしており、無償資金協力による新病院建設も 1999 年に着工され、2000 年末には完成予定である。同国では、感染症などの急性疾患等の頻度がとりわけ高く、またこれらを救命できないために高い死亡率を招く結果となっている。セタティラート病院においても、患者の大半は急性疾患等であり、先進国の技術があれば失われずに済んだ命が数多いのが実状で、救命可能疾患に関する治療技術の移転が望まれるとともに、数多い患者を効率的に診療する病院運営管理能力の向上が必要である。

ラオス政府はこのような状況を改善するため、当病院の各診療科の充実を図り、医療水準と卒後研修機能等のレベルアップを実現し、もってラオス全体の医療水準の底上げを図るべく、わが国に対し技術協力を要請してきた。

1 - 2 調査目的

移転前の現病院において、プロジェクト方式技術協力が開始してから 6 カ月が経過しようとしているため、これまでの技術移転の進捗状況を正確に把握、問題点を検討し、今後の協力計画策定の指針を得るため、今回の運営指導調査団を派遣した。特に、現在建設中の新病院の完成が本年末に予定されていることもあり、相手国関係者と今後の協力計画について協議し、計画内容の調整を行うとともに、プロジェクトの実施体制等の改善について先方関係者と協議を行った。

1 - 3 調査方針

(1) ラオス側カウンターパートおよび専門家チーム等のプロジェクト関係者と意見交換および活動現場の視察を行った。また、プロジェクトの進捗状況の確認と課題・問題点の把握を行い、現在までの活動状況をレビューするとともに、目標と活動内容の整合性の検討もあわせて行った。

(2) この協議をもとに今後の活動に対する提言を行い、必要に応じ当初計画の見直しと調整を行った。

(3) 一連の調査・協議を通じて合意に至った事項については、ミニッツに取りまとめ、署名を交換した。

1 - 4 調査団の構成

| | 担 当 | 氏 名 | 所 属 |
|----|------|-------|---------------------|
| 団長 | 総 括 | 比嘉 國郎 | (社)沖縄県医師会 会長 |
| 団員 | 臨 床 | 山根 誠久 | 琉球大学 医学部 教授 |
| 団員 | 協力計画 | 植竹 肇 | JICA医療協力部医療協力第一課 職員 |

1 - 5 調査日程

| 日順 | 月日 | 曜日 | 移動および業務 |
|----|--------|----|--|
| 1 | 3 / 18 | 土 | 移動： 那覇 関空 / 成田 バンコク |
| 2 | 3 / 19 | 日 | 移動：8：20 バンコク 9：30 ヴィエンチャン(TG690) 11：00 日本大使館員との打合せ(於ノホテル) |
| 3 | 3 / 20 | 月 | 9：00 JICA事務所訪問 10：15 首相府投資協力委員会(CIC)表敬 10：50 ヴィエンチャン特別市表敬 11：30 ヴィエンチャン特別市保健局表敬 13：30 保健省表敬 14：15 外務省表敬 15：00 プロジェクト内部協議 |
| 4 | 3 / 21 | 火 | 8：30 セタティラート病院表敬 9：00 セタティラート病院視察 10：30 国立マホソット病院視察 14：00 供与機材引き渡し式典参列 15：00 新病院建設にかかる協議、建設工事現場視察 |
| 5 | 3 / 22 | 水 | 9：00 セタティラート病院との協議 13：30 セタティラート病院との協議 |
| 6 | 3 / 23 | 木 | 9：00 合同委員会 14：00 シーサタナック郡立病院視察 15：00 友好病院視察 19：00 ミニッツ署名式 |
| 7 | 3 / 24 | 金 | 9：00 保健省表敬 10：00 ヴィエンチャン特別市保健局表敬 14：30 日本大使館報告 15：00 JICA事務所報告 16：30 セタティラート病院主催バーシーセレモニー |
| 8 | 3 / 25 | 土 | 移動：10：30 ヴィエンチャン 11：35 バンコク(TG691) |
| 9 | 3 / 26 | 日 | 移動：バンコク 成田 / 関空 那覇 |

1 - 6 主要面談者

(1) ラオス側

1) 保健省

| | |
|----------------------------|---------------------------------|
| Dr. Ponmek Dalaloy | Minister |
| Dr. Davone Vongsack | Vice Minister |
| Ms. Chanthanom Manodham | Director of Cabinet |
| Dr. Khemphet Vanthanouvong | General Director of Health Care |
| Dr. Somphone Phounesavath | Director, Curetive Department |

2) 外務省

| | |
|------------------------|-------------------------------------|
| Mr. Phoukhong Chommala | Director, Foreign Relation Division |
|------------------------|-------------------------------------|

3) 首相府投資協力委員会(Committee for Investment and Cooperation: C I C)

| | |
|-----------------------------|-------------------------|
| Mr. Sivixay Saysanavongphet | Deputy Director General |
|-----------------------------|-------------------------|

4) ヱィエンチャン市役所

| | |
|-------------------------------|-------------------------|
| Mr. Bounheuang Douangphachanh | Mayor |
| Mr. Thongmy Phomvixay | Vice Mayor |
| Mr. Nhot Nilavong | Deputy Chief of Finance |

5) ヱィエンチャン市保健局

| | |
|-----------------------------|-----------------|
| Dr. Champhomma Vongsamphanh | Director |
| Dr. Khamtanh Bouaphayvanh | Deputy Director |

6) セタティラート病院

| | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| Dr. Bouaphan Phanthavady | Director |
| Dr. Khampe Phongsavath | Deputy Director |
| Dr. Vanphen Pholsena | Deputy Director |
| Dr. Thongdy Luangxay | Head, Medical Technology Section |
| Dr. Sengthong Birakoun | Chief, Personnel Department (H12C/P) |
| Dr. Oukeo Khounthalyvong | Internal Medicine Section (H12C/P) |
| Dr. Vantoula Khaykhamphititone | Pediatric Section (H12C/P) |
| Dr. Keokedthong Phongsavan | OBGY Section |

7) マホソット病院

| | |
|-------------------------|-----------------|
| Dr. Bounkong Syhavong | Deputy Director |
| Dr. Mayboun Heuanvongsy | Deputy Director |

8) 友好病院

| | |
|---------------------|---------------|
| Dr. Somock Kingsada | Vice Director |
|---------------------|---------------|

Dr. Vanliem Bouaravong

Head of Department, Center of Traumatology
and Orthopaedics

(2) 日本側

1) 在ラオス日本大使館

宮本 吉範

特命全権大使

長野 誠司

一等書記官

2) JICAラオス事務所

宮田 伸昭

次長

熊谷 信広

所員

3) プロジェクト専門家

野崎 宏幸

チーフアドバイザー

大槻 和弘

業務調整員

畦西 繁夫

病院管理長期専門家

宮城 博子

一般医療長期専門家

上間千代美

看護長期専門家

4) 単発専門家

天野 博行

5) 大林組ヴィエンチャン事務所

佐藤 国広

Administration Manager

岩本 英次

Project Manager

6) 日本設計

内野 仁

Resident Architect

1 - 7 ラオス側との協議内容

(1) 1999年度活動進捗状況および2000年度活動計画

プロジェクトの活動は順調に進んでおり、3月末に医療一般の長期専門家が赴任したことで、当初予定どおりの専門家が全員そろった。2000年度活動計画については、専門家派遣、機材供与、カウンターパート研修のほかに、タイへの技術交換が予定されている。さらに、新病院への移転が、大きな作業になると予想される。そのため、ラオス側の主体性を尊重しつつ、現在赴任中の病院管理長期専門家および移転時期にあわせて派遣予定の病院管理短期専門家が指導にあたる予定である。

(2) 新病院移転について

以下の日程で、新病院移転にかかる一連の作業が行われることを確認した。また、移転にかかる経費は、プロジェクト事務所移転等を除いては、ラオス側が負担することも確認した。

| | |
|-------------|-----------------------|
| 2000年11月 | 施設管理病院スタッフの大林組による研修開始 |
| 2000年12月末まで | 新病院完工 |
| 2001年1月末まで | 移転作業完了 |
| 2001年2月 | 開業 |
| 2001年4月初旬 | 開院式 |

(3) P D Mの訂正について

プロジェクト開始から6カ月しか経っていないため、P D M訂正は時期尚早であるという結論になった。

(4) C Tスキャン(Computer Tomography Scanner)導入について

ラオス側は、プロジェクト開始前から、同病院へのC Tスキャン供与を日本側に強く要望してきた。今回も、C Tスキャンの要望があげられたため、ラオス側の要望を日本へ伝えることを約し、ラオス側へ、経費的、技術的な裏づけを求めた。

2 . 総 括

ヴィエンチャン到着後、保健大臣を表敬訪問した際、大臣から労いのことばと、セタティラート病院に対する物心両面からの支援に対し感謝している旨が述べられた。また新築を機にCTスキャンをぜひ導入してほしい旨の要請があった。ラオスでは高血圧患者、交通事故が急増しており、そのつどCTスキャンが必要な患者はタイ国に行かなければならない状況であるとのことである。

また、セタティラート病院との協議会においても、病院側からCTスキャンが必要になってきたのでぜひ協力してほしいとのことであった。ラオスでは年間2000人のCTスキャン撮影を要する患者が発生している。軍病院で600人はCT撮影が可能であるが、残り1400人は裕福な国民はタイ国へ渡っている。唯一の軍病院のCTも古く、画像が悪く読影困難な状況である。われわれが表敬訪問したマホソット病院、サセナート病院、友好病院においても、セタティラート病院にCTスキャンが導入されることは有意義で、積極的に支援していくとの説明を受けた。導入後の専門医・技術者・メンテナンス等問題はあるが、機が熟してきているのではないかと思われる。現セタティラート病院も視察したが、医療器械もまだ乏しく医療環境も劣悪の状況であるところ、供与機材については今後申請される内容について配慮する必要があると思われる。

3 . プロジェクトの進捗状況

(1) 専門家派遣

長期専門家 6 名、短期専門家 1 名が派遣され、それぞれのカウンターパートと協力してプロジェクトの初期立ち上げが進められている。活動拠点としてのプロジェクト事務所も病院内に確保、整備された。事務機器、臨時職員も適切に整備、配属され、事務所機能が確保されている。また病院管理についても、病院機構における組織系統の確立と病歴管理システムの導入を指導している。この分野は、新病院への移転をひかえ、最も重要で、急がれる分野であるが、ラオス側も研修を終えた病院長を中心に活動を強化している。

(2) 研修員受入れ

病院管理 2 名、放射線診療 1 名を 1999 年度に受け入れた。いずれも帰国後、研修内容に関する報告会が開催され、特に病院管理への認識が改善している。

(3) 機材供与

当初計画された供与機材についても順調に調達が進み、補正予算に伴う追加機材についてもすでに調達、納入されている。

4 . 課題と問題点

現時点でプロジェクトが抱える大きな問題点は特に指摘できない。しかし、現在派遣されている長期専門家とラオス側に、次の2点を課題として指摘した。

- (1) プロジェクトデザインマトリックス(P D M)および暫定実施計画書(T S I)に記載されている各項目の indicator について、新病院への移転前における現状把握の目的で、早急に評価を進めるように指導した。特に中間期の評価を行う際、プロジェクトの初期段階での評価が重要であることを強調した。
- (2) P D M に記載されている病院食改善へ向けた活動が乏しいことを指導した。予算上の制約もあると考えられるが、看護部門がこれを担当することになっており、長期専門家を含め、今後の検討を指導した。

5 . その他

(1) 新病院への移転と開院式典

長期専門家を含め、ラオス側と協議を行い、以下のスケジュールで新病院への移転を進めることとした。

- 1) 新病院の設備、機器について、その保守、管理の技術研修を 2000 年 11 月より開始する。
- 2) 2001 年 1 月には移転作業を開始する。
- 3) 2 月 1 日を開院日とし、患者への医療サービスの提供を始める。
- 4) 4 月初～中旬に開院式典を催す。

(2) C T スキャン供与の要請

ラオス国内には現在稼働している C T スキャンが皆無の状態にあり、保健大臣を含む多くの関係者より C T スキャンを新病院へ設置してほしい旨の強い要請があった。交通事故による外傷、脳血管障害が増加しており、その正確な診断には C T スキャンが必要であるとの認識がある。ヴィエンチャン特別市内のマホソット病院、友好病院、2 つの基幹病院を訪問したが、いずれの施設も患者を転送して新セタティラート病院で検査したいという希望が表明された。C T スキャンの必要性、管理、維持に必要な収支計算、技術研修計画などの資料も提示された。調査団としても早い機会に C T スキャンの供与が必要となるという認識をもち、国内委員会へ報告することとした。

附 属 資 料

ミニッツ

無償資金協力による新病院建設概略

MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE MANAGEMENT CONSULTATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE LAO PEOPLE'S DEMOCRATIC REPUBLIC
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE PROJECT FOR THE IMPROVEMENT OF SETHATHIRATH HOSPITAL

The Japanese Management Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), and headed by Dr. Kunio HIGA, visited the Lao People's Democratic Republic from March 19 to 25, 2000.

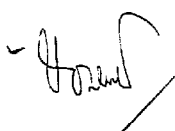
During its stay, the team exchanged views and had a series of discussions with the Lao authorities concerned to review the activities of the Project for the Improvement of Sethathirath Hospital (hereinafter referred to as "the Project").

As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters in the document attached hereto.

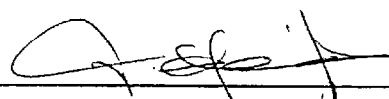
Vientiane, March 23, 2000



Dr. Kunio Higa
Leader,
Management Consultation Team,
Japan International Cooperation Agency,
Japan



Ms. Chanthanom Manodham
Director of Cabinet,
Ministry of Health,
Lao People's Democratic Republic



Dr. Chanphomma Vongsamphanh
Director,
Vientiane Municipality Health Department,
Lao People's Democratic Republic

ATTACHED DOCUMENT

1. GENERAL REVIEW

The Project started in Vientiane Municipality on October 1, 1999, for the purpose of upgrading the medical services and training capabilities of Sethathirath Hospital.

The Record of Discussions was signed on December 18, 1998, by both JICA and the Government of the Lao P.D.R. In accordance with this, JICA has dispatched experts, accepted three counterpart personnel as trainees in Japan, and provided equipment to activate the implementation of the Project.

Both sides reviewed the implementation activities of the Project during Fiscal Year 1999. Future implementation plan was discussed based on the common understanding of the present situation.

2. SUMMARY OF THE PROJECT FOR THE FISCAL YEAR 1999

Both sides agreed on the progress of the Project as described in the following 2 - 1 to 2 - 2.

2 - 1. MAIN ACTIVITIES AND OUTPUTS THROUGH THE PROJECT

2-1-1. Upgrading the Quality of Doctors, Para-clinics, Pharmacists and Nurses

Collaboration between Lao and Japanese sides has identified some appropriate methods and techniques of therapy and diagnosis, such as the introduction of necessary blood tests to diagnose some critical infectious diseases.

Training opportunities were given to doctors and other medical staff. One radiologist received training in Japan on chest X-ray, upper gastro-intestinal study (UGI), barium enema and CT scans. Computer and English training courses were held in a special outside school for doctors and other medical staff. As a result, their computer skills and English abilities have been improved.

To facilitate the library, necessary text books, and videos in English and Thai languages have been purchased by the Project. One international journal has regularly been distributed to the library by JICA headquarters.

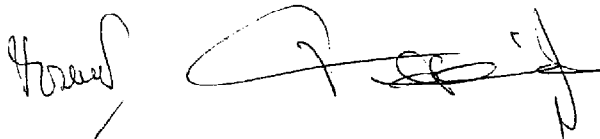
A clinical conference has been held for doctors and other medical staff once a week.

A Project Seminar has been held once a month for all staff in the hospital. Additionally, some departments such as pediatrics held their own conference for improving staff knowledge and skills.

2-1-2. Equipment Update and Repair

Essential medical, educational and office equipment, as listed in ANNEX I-4, was installed in Sethathirath Hospital to upgrade the medical services and training capabilities.

24.



2-1-3. Hospital Administration

Two medical doctors received one month of training in hospital administration in Japan. The purpose of their studies was to identify appropriate reception methods and hospital management systems as well as to improve the hospital data collection system. At the Project Seminar, they demonstrated their experience and knowledge learned in Japan to the administrative staff of Sethathirath Hospital.

The hospital data collection and hospital management system have been improved by conducting several seminars on hospital management systems and computer training and English courses. Furthermore, a computer system has been installed in the patient data and hospital management department.

2-1-4. Construction of the New Sethathirath Hospital

Meetings have been held between the construction project and the technical cooperation project for the purpose of creating the best hospital set-up.

2 - 2. INPUTS OF THE PROJECT

2-2-1. Dispatch of Japanese Experts

Six long-term experts have been dispatched, or is being dispatched, in the roles of ; Chief Advisor, Coordinator, Hospital Administration, General Medicine, Nursing. A short-term expert in Pediatrics was assigned. (see ANNEX I-1)

2-2-2. Lao Counterpart Training in Japan

Three Lao personnel in the field of Hospital Administration and Radiology have been trained in Japan (see ANNEX I-2) to upgrade their skills.

2-2-3. Lao Counterparts

The personnel at the Ministry of Health, the Health Department of Vientiane Municipality, and Sethathirath Hospital (described in ANNEX I-3) are appointed as counterparts of the Project.

2-2-4. Provision of Equipment

All equipment JICA had initially planned to dispatch before the launching of the Project, has been provided or is being provided. In addition, the volume of some equipment was increased due to the currency margin on remittance. (see ANNEX I-4)

The total amount of the provision was 20,991,000 Japanese yen.

Handwritten mark

Handwritten signature

Handwritten signature

3. SUMMARY OF THE PROJECT PLAN FOR THE FISCAL YEAR 2000

Both sides agreed on the project plan as follows in 3 - 1 to 3 - 2.

3 - 1. PLAN OF THE MAIN ACTIVITIES

3-1-1. Upgrading the Quality of Doctors, Para-clinics, Pharmacists and Nurses

Lao and Japanese sides continue to identify appropriate methods and techniques of therapy and diagnosis in the field of Internal Medicine, Gyneco-Obstetrics, Pediatrics, Laboratory, Pharmacy and Nursing and other fields in Sethathirath Hospital. Formulating a curriculum for post-graduate medical doctors starts in some departments.

Training opportunities are given to doctors and other medical staff not only in Lao P.D.R. but also in foreign countries such as Japan and Thailand, partly shown in Annex II-2. Computer and English training courses are held in a special school for doctors and other medical staff. A computer system is installed in the library, managed by the Medical Research and Information Section, for access to international information. To facilitate the library, essential video systems, text books and videos in English and Thai languages are purchased. Several international journals are distributed to the library. Clinical conferences and Project Seminars are held regularly for all hospital staff. Some departments hold their own conferences.

3-1-2. Equipment Update and Repair

Required medical, educational and office equipment listed in ANNEX II-3 is installed in Sethathirath Hospital to upgrade medical services and training capabilities.

3-1-3. Hospital Administration

Lao and Japanese sides continue to improve the hospital data collection system and identify appropriate hospital management systems and reception methods, such as new medical record systems. For this purpose, seminars on hospital management systems and computer training courses are held for the staff. A training course on hospital administration is held in North East Thailand for the staff of the administration section. Computer systems are installed into sections such as patient data management, patient reception and the hospital management department. The maintenance section is improving hospital facilities under the management of the administration office.

3-1-4. Primary Medical Care (PMC) at Local Health Facilities

Training courses are held for staff at local health facilities on primary medical care such as mother and child health (MCH), dental care, diarrhea control and so on.

3-1-5. Construction of the New Sethathirath Hospital

Meetings are held between the construction project and the technical cooperation project. At the end of the year 2000, the new Sethathirath Hospital will be handed over to the Lao

2000

Yoshida

[Signature]

side. The new hospital opens in early 2001.

3 - 2 PLAN OF INPUTS

3-2-1. Dispatch of Japanese Experts

An expert will be dispatched to each of the following fields: Pharmacy, Hospital Administration, and Nursing. The total number of experts in these fields for Fiscal Year 2000 is three. (see ANNEX II-1)

3-2-2. Lao Counterpart Training in Japan

Three Lao counterparts were selected for training in Japan. (see ANNEX II-2)

3-2-3. Provision of Equipment

The equipment listed in ANNEX II-3 is recognized as essential.

The total amount of the provision is expected to be about 30,000,000 Japanese yen.

4. OTHER MATTERS

Both sides agreed on the matters described as follows in 4 - 1 to 4 - 3.

4 - 1. CORRECTION TO THE RECORD OF DISCUSSIONS

4-1-1. Lao Administrative Personnel of the Project

Even though the Deputy Director of the Vientiane Municipality Health Department has moved to a new position, it has been decided that a replacement is not necessary since the Director of Sethathirath Hospital, as one of the Project Directors, has already managed these duties satisfactorily with full support and advise by the Director of the Vientiane Municipality Health Department, the Director of the Project.

4-1-2. Joint Coordinating Committee

The old names of "National Institute of Hygiene and Epidemiology" and "Institute of Malariology, Parasitology and Entomology", as observers, are to be changed to "Center for Laboratory and Epidemiology" and "Center for Malariology, Parasitology and Entomology", respectively.

4 - 2. PROJECT DESIGN MATRIX

Due to the current early stage of progress, it is agreed that no revision to the contents of the Project Design Matrix is necessary. The necessity of revision will be anticipated in future.

ref.

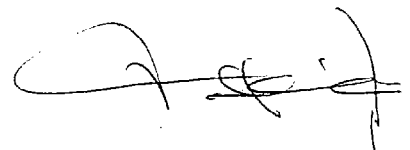


4 - 3. EXPENDITURE ON MOVEMENT TO THE NEW HOSPITAL

Except expenditures of the Project office, all expenditure incurred by the movement to the new hospital is to be borne by the Lao side:

- Carriage of hospital property ; medical equipment, office furniture, etc.
- Removal and re-installation of equipment
- Alteration of ward and office space of Lao staff
- Transportation for in-patients, medical staff and other personnel

2014



ANNEX I

PROJECT IMPLEMENTATION RESULTS FOR 1999

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

| | Field | Name | Period | Remarks |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------------|--------------------|
| LONG-TERM EXPERTS | | | | |
| 1 | Chief Advisor | Dr. Hiroyuki Nozaki | Oct. 1, 1999 - Sep. 30, 2001 | |
| 2 | Coordinator | Mr. Kazuhiro Otsuki | Oct. 1, 1999 - Sep. 30, 2001 | |
| 3 | Hospital Administration | Mr. Shigeo Azenishi | Nov. 1, 1999 - Oct. 31, 2001 | |
| 4 | General Medicine | Dr. Hiroko Miyagi | Jan. 15, 2000 - Jan. 14, 2001 | |
| 5 | General Medicine | Mr. Kazuya Matayoshi | Mar. 28, 2000 - Mar. 27, 2001 | * To be dispatched |
| 6 | Nursing | Ms. Chiyomi Uema | Mar. 1, 2000 - Feb. 28, 2001 | |
| SHORT-TERM EXPERT | | | | |
| 7 | Pediatrics | Dr. Hirohisa Taketomi | Jan. 15, 2000 - Mar. 14, 2000 | |

2. LAO COUNTERPART TRAINING IN JAPAN

| | Field | Name | Period | Remarks |
|---|-------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------|
| 1 | Hospital Administration | Dr. Chanphomma Vongsamphanh | Nov. 1, 1999 - Nov. 25, 1999 | |
| 2 | Hospital Administration | Dr. Bouaphan Phanthavady | Nov. 1, 1999 - Nov. 25, 1999 | |
| 3 | X-ray | Dr. Vackhaly Boudtavong | Nov. 1, 1999 - Jan. 31, 2000 | |

2004

Handwritten signatures and initials

3. LAO COUNTERPARTS

| | SECTION | TITLE | NAME |
|----|--|--|--------------------------------|
| 1 | Ministry of Health | Director of Cabinet | Ms. Chanthanom Manodham |
| 2 | | General Director of Health Care Sector Cooperation with Japan | Dr. Khemphet Vanthanouvong |
| 3 | Health Department, Vientiane Municipality | Director | Dr. Chanphomma Vongsamphanh |
| 4 | Sethathirath Hospital | Director | Dr. Bouaphan Phanthavady |
| 5 | | Deputy Director | Dr. Vanphenh Pholsena |
| 6 | | Deputy Director | Dr. Khampe Phongsavath |
| 7 | | Chief of Medical Technology Section | Dr. Thongdy Luangxay |
| 8 | | Chief, Personnel Dept. | Dr. Sengthong Birakoun |
| 9 | | Chief, Financial Dept. | Mr. Somsanouk Vongxay |
| 10 | | Chief, Internal Medicine | Dr. Panyavong Chitapanya |
| 11 | | Deputy Chief, Internal Medicine | Dr. Oukeo Khounthalyvong |
| 12 | | Deputy Chief, Internal Medicine | Dr. Sinthavong Phyatap |
| 13 | | Doctor, Obstetrics and Gynecology | Dr. Keokedthong Phongsavan |
| 14 | | Doctor, Obstetrics and Gynecology | Dr. Amphoy Sihavong |
| 15 | | Doctor, Pediatric Section | Dr. Pramkanchana Xaykosy |
| 16 | | Doctor, Pediatric Section | Dr. Vantoula Khaykhamphithoune |
| 17 | | Doctor, Pediatric Section | Dr. Phoudeth Visounalat |
| 18 | | Chief, Radiology Section | Dr. Vackhaly Boudtavong |
| 19 | | Deputy Chief, Laboratory Section | Dr. Saykham Phasayaseng |
| 20 | | Chief, Pharmacy Section | Dr. Sengthong Kambouta |
| 21 | | Deputy Chief, Pharmacy Section | Mr. Vorachith Thiphakoon |
| 22 | | Head Nurse, Nursing Section | Ms. Boun Phitasounthont |
| 23 | | Chief, Nursing Section | Ms. Pindavone Phaxayavong |
| 24 | | Nursing Section | Mr. Phonesavanh Thammavongsa |
| 25 | | Nursing Section | Ms. Somchai Shihalath |
| 26 | | Secretary's Office | Dr. Sivilay Sayadeth |
| 27 | | Secretary's Office | Ms. Sililack Banouvong |
| | | | |
| | | | |

Handwritten signatures and initials.

7EH.

4. PROVISION OF EQUIPMENT FOR THE YEAR 1999

| | Name of Equipment | Unit | Quantity | | Remarks |
|---------------------------------------|----------------------------|------|--------------------|---------------|---|
| | | | Originally-planned | Actual Status | |
| 1. Medical Equipment | | | | | |
| 1 | Syringe pump | set | 2 | 4 | |
| 2 | Infusion pump | set | 2 | 4 | |
| 3 | Suction unit | set | 2 | 4 | |
| 4 | Nebulizer | set | 2 | 2 | |
| 5 | Doppler sound detector | set | 2 | 2 | |
| 6 | Respirator | set | 1 | 1 | |
| 7 | Refrigerator | set | 1 | 1 | |
| 8 | Otoscope | set | 1 | 6 | |
| 9 | Vacuum cleaner | set | 2 | 2 | |
| 10 | Operation kit | set | 1 | 2 | |
| 11 | Autoclave | unit | 1 | 1 | |
| 12 | Infant warmer | set | 1 | 1 | |
| 2. Educational Equipment | | | | | |
| 13 | Medical books for library | set | 1 | 2 | |
| 14 | Training video for library | set | 1 | 2 | |
| 15 | Slide projector | set | 1 | 1 | |
| 16 | LCD projector | set | 1 | 1 | * A LCD projector with the function of visual presenting was initially planned. However, two individual items were purchased instead. |
| 17 | Visual presenter | set | | 1 | |
| 18 | Microphone system | set | 1 | 1 | |
| 19 | Video player | set | 1 | 1 | |
| 3. Office Equipment and others | | | | | |
| 20 | Vehicle (Land Cruiser) | unit | 1 | 1 | |
| 21 | Vehicle (Prado) | unit | 1 | 1 | |
| 22 | Fax | set | 1 | 2 | |
| 23 | Telephone system | set | 1 | 1 | |
| 24 | Computer | set | 3 | 6 | |
| 25 | Printer | set | 2 | 4 | |
| 26 | Photocopy | set | 1 | 2 | |
| 27 | Office furniture | set | 1 | 1 | |

200

ANNEX II

PROJECT IMPLEMENTATION PLAN FOR 2000

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

| | Field | Period | Remarks |
|--------------------------|-------------------------|-----------------------|---------|
| SHORT-TERM EXPERT | | | |
| 1 | Pharmacy | Dec. 2000 - Mar. 2001 | |
| 2 | Hospital Administration | Dec. 2000 - Mar. 2001 | |
| 3 | Nursing | Feb. 2001 - Aug. 2001 | |

2. LAO COUNTERPART TRAINING IN JAPAN

| | Field | Name | Period | Remarks |
|---|-------------------------|---------------------------|-----------------------|----------|
| 1 | Pediatrics | Dr. Khampe Phongsavath | Sep. 2000 - Oct. 2000 | 1 month |
| 2 | Nursing | Ms. Pindavone Phaxayavong | May. 2000 - Jan. 2001 | 9 months |
| 3 | Obstetrics & Gynecology | Dr. Keokedthong Phonsavan | Sep. 2000 - Nov. 2000 | 3 months |

2014

3. EQUIPMENT PROVISION PLAN FOR 2000

| | Name of Equipment | Unit | Quantity | Remarks |
|----|-------------------------------------|------|----------|---------|
| 1 | Mobile X-ray apparatus | unit | 1 | |
| 2 | Apparatus for blood gas analysis | set | 2 | |
| 3 | Personal computer | set | 8 | |
| 4 | Printer | set | 3 | |
| 5 | Embosser | set | 1 | |
| 6 | Imprinter | set | 33 | |
| 7 | Shelf for medical record | set | 1 | |
| 8 | Doppler sound detector | set | 1 | |
| 9 | Oxygen saturation monitor | set | 2 | |
| 10 | Neonatal patient monitor | set | 1 | |
| 11 | Electrocardiograph monitor | set | 1 | |
| 12 | Cardiotocograph | set | 1 | |
| 13 | Billirubinometer | set | 1 | |
| 14 | Ultrasonic nebulizer | set | 4 | |
| 15 | Infant automatic scale | set | 2 | |
| 16 | Pediatric scale | set | 2 | |
| 17 | Waste box | set | 10 | |
| 18 | Basin stand with bowl | set | 10 | |
| 19 | Emergency cart | set | 3 | |
| 20 | Refrigerator | unit | 6 | |
| 21 | Cabinet for drugs | unit | 5 | |
| 22 | Nomarski interference microscope | set | 1 | |
| 23 | Apparatus for photomicrography | set | 1 | |
| 24 | Film for X-ray apparatus | set | 1 | |
| 25 | Medical books for library | set | 1 | |
| 26 | Medical video/ CD set for library | set | 1 | |
| 27 | Panendoscopy (Gastrofiberscopy) | set | 1 | |
| 28 | Blood sugar analyzer for monitoring | set | 3 | |

Self

[Handwritten signature]

[Handwritten signature]

| <u>PROJECT OUTLINE</u> | |
|------------------------------------|---|
| PROJECT NAME | THE PROJECT FOR CONSTRUCTION OF NEW SETHATHIRATH HOSPITAL IN LAO PEOPLE' S DEMOCRATIC REPUBLIC |
| SITE LOCATION | BAN DON KOY, MUANG SISATTANAK, VIENTIANE, LAO P.D.R |
| CLIENT | MINISTRY OF HEALTH, VIENTIANE MUNICIPALITY HEALTH DEPARTMENT |
| CONSULTANT | NIHON SEKKEI, INC. |
| CONTRACTOR | OBAYASHI CORPORATION |
| CONSTRUCTION PERIOD | DATE OF SIGNING CONTRACT: 6TH SEPTEMBER 1999 DATE OF COMMENCEMENT: 1ST OCTOBER 2000 DATE OF COMPLETION: 31ST DECEMBER 2000 |
| BUILDING CATEGORY | HOSPITAL (175 BEDS INCLUDING ICU/NICU/PICU ETC., 2 OPERATION ROOMS, 2 DELIVERY ROOMS) |
| SITE AREA | 16,521.80 m ² |
| BUILDING AREA | 4,216.66 m ² (EXCLUDE ATTACHED BUILDINGS) 309.94 m ² (ATTACHED BUILDINGS) |
| FLOOR AREA | 1.MAIN BUILDINGS 7,443.46 m ² (INCLUDING ANNEX, CONNECTING BLD.) 2.ATTACHED BUILDINGS 309.94 m ² TOTAL 7,753.40 m ² |
| STORIES, BLOCKS | 1.MAIN BUILDINGS; 2 STORIES WITH PENTHOUSE 3 STORIES 2.ANNEX; 1 STORY |
| STRUCTURAL DESIGN | REINFORCED CONCRETE STRUCTURE FOUNDATION ; CONCRETE DRIVING PILE; D=0.5*0.5, L=5.0 (MAIN BUILDINGS) SPREAD FOUNDATION (ANNEX, ATTACHED BUILDINGS) |
| FLOOR HEIGHT | MAIN BUILDINGS 1F 3,900 m/m 2F 3,450 m/m |
| ROOF HEIGHT | GL+12.042 m PENTHOUSE GL+21.974 m |
| EXCAVATION | GL- 2,500 m/m (MAIN BUILDINGS) GL- 5,900 m/m (WATER TREATMENT PLANT) |
| EXTERIOR FINISH | HOLLOW CONCRETE BLOCK ACRYLIC RESIN PAINT EXPOSED CONCRETE ACRYLIC RESIN PAINT |
| ROOFING | ROOF TILE , LAMINATED GLASS TOP LIGHT POLYURETHANE WATER PROOFING |
| EXTERNAL FACILITIES | CAR PARKING 78 NOS., MOTOR CYCLE PARKING 224 NOS. PAVING BLOCK (INTERLOCKING) AND SODDING |
| MECHANICAL & ELECTRICAL FACILITIES | 1.ELECTRICAL WORKS 4.SEWAGE WATER TREATMENT SYSTEM 2.MECHANICAL WORKS 5.MEDICAL GAS SYSTEM 3.AIR-CONDITIONING SYSTEM 6.DEEP WELL & PUMP (WELL DEPTH 40m) |
| MEDICAL EQUIPMENT | PROCURED AND INSTALLED BY NISSHO IWAI CORPORATION |

